

8 月保護者事業所見学

8 月 1 日（水）に行われた事業所見学会には小学部 5 名、中学部 2 名、高等部 7 名、職員 4 名の計 18 名が参加しました。ありがとうございました。また、同日に P T A 事業所見学会も開催され「ひめかみの風」と「みのりホーム」の見学を行いました。

やちだもの家

- ・経営母体の第一商事は、岩手の総合ビルメンテナンス（ビルの清掃、設備、警備保安など、ビル空間を利用する人々が気持ちよく過ごせる環境作り）の会社です。福祉用具販売・レンタル、介護施設『やちだもの家』の運営も行っています。
- ・今年度、加賀野にあるやちだもの家に支援学校から就労が 1 名ありました。3 か月のトライアル雇用を経て順調に働いています。在学中は 3 年生の秋から 2 週間の実習を 2 回行いました。掃除等の業務を希望していましたが、周りとのコミュニケーションが好きなことから、利用者対応、配膳、行事参加と業務が広がっています。
- ・障がい者雇用に関しては本人の特性などの情報を社員に伝えてからコミュニケーションをとるように気を付けています。長く働き続けることができるように関係機関と連携をしながら支援を工夫しています。

手をつなぐ相談支援センター mu・cre

- ・就労移行支援（一般就労を目指していきたい方）、自立訓練（自立に向けた訓練や学び）やグループホーム（満所）、短期入所（現在は法人内の利用者対象）を行っています。
- ・ハリネズミ関連グッズの注文受付、梱包、発送を行っており、平日 50 件、月曜日は約 200 件の発送業務があります。
- ・自力通勤ですが、マリオス前への送迎があります。距離に応じて最大 1 万円の交通費があります。昼食は持参または 230 円の弁当購入となります。

ぼえむの森

- ・平成 29 年 3 月に始まった事業所です。運営母体の株式会社ウエルネスは介護事業を行っており、ぼえむの森の活動にも介護関係の仕事があります。
- ・就労継続支援 B 型（定員 15 名、現在 15 名）では、送迎（滝沢、紫波）と、給食（100 円）があります。木工や絵画など利用者さんの興味関心をもとに活動を立ち上げており、現在はアマゾン用の商品管理（古本の磨き、発送など）、木工、電話対応、コーヒー用スプーンのリサイクルなどの仕事を行っており、月 1 回ふれあいランドでカラオケやスポーツなどの余暇活動も行っています。
- ・就労移行支援（定員 15 名、現在 16 名）
産直や介護施設での実習、介護施設利用者とのコミュニケーション、厨房作業、清掃等を行っています。就労に向けての実習は本人の興味関心を参考にゲームセンターで行ったこともあります。



今回の見学では、自宅のすぐそばに事業所があるのを初めて知ったことや今まで興味がもてなかった事業所でも、見学をすることでイメージをもつことができたこと、お子さんとイメージを重ねながら見学できてよかったことなど見学することで初めて分かったという内容の感想をたくさんいただきました。

アンケートを基に次回も企画いたします。まずは見学から始めてみてはいかがでしょうか。

支援部学習会③～⑤

第3回～5回の支援部学習会は、「ペアレントトレーニングの概要と実践」というテーマで開催しました。保護者の方や保育園・幼稚園、小学校・中学校・高校の先生方など30名以上の参加をいただき、講演や事例に基づいた実践的な学習会を行いました。

第3回の午前中は、みちのく療育園の川村みや子先生から「ペアレントトレーニング（以下ペアトレ）前に知ってほしいこと」という内容で発達障害のある子ども達の特性について学びました。子どもの特性が脳の発達と関連していること、子どもの脳が発達するためには「食べ物」と「褒める」の2つの栄養が必須であること、特性を理解してその対応を学べば、子育ては楽に楽しくなることというお話を具体的な例を挙げながら大変分かりやすく説明していただきました。そして、その対応の仕方としてのペアトレの有効性や大切さを教えていただきました。

午後からはペアトレリーダーの三枚堂静子先生に演習をしていただきました。実践①として、ペアトレのキーワード「行動・注目」（子どもの行動を観る、子どもを観る・観ないをコントロールすること）、「25%ルール」（子どもに100%を求めるのではなく、指示に従おうとしていたら等、25%でもできていたらそこでたくさん褒めてあげる）、「CCQ」（大人が落ち着いてCalm、近づいてClose、声のトーンを落としてQuiet指示を出す）の3点について教えていただきました。その後、子どもの行動を「好ましい行動」「好ましくない行動」「危険な行動」に分けて観ることを参加者4名の方の協力をいただいて実践的に学びました。

第4回では、実践②として「効果的な指示の出し方Ⅰ」をテーマにロールプレイングを通してCCQで伝えること、指示を繰り返すこと等、具体的な指示の出し方を体験しました。最終回となった第5回では、「効果的な指示の出し方Ⅱ」として、子どもに選択させる、「～したら～できる」という取り決めをする、子ども同士の力を利用して協力を促す、ブローケンレコードテクニックの4つの指示の出し方について学びました。

3回の実践的な研修を通して、ペアトレの基本となるのは子どもの行動をよく見て的確に「褒める」という三枚堂先生のお話が印象的でした。参加した皆さんからも「毎回内容の濃い勉強ができ、実際の話も聞くことができ助かった」「私の笑顔が増えれば、子どもの笑顔も増えることを実感した」「実践してみたいことが多く、日々の生活で小さなことからでも試してみたい気持ちになった。子どもと関わるなかで、見方を変えると子どもの良い面がどんどん出てくるんだなと実感した」等、たくさんの感想をいただきました。実りの多いとても有意義な学習会となりました。

